

普及活動情勢報告（平成28年8月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

生産者に環境制御技術の特徴をPR ～JA高知市施設野菜部会・花卉部会合同研修会～



熱心に研修を受ける参加者

7月27日、高知農業改良普及所で研修会を開催し、生産者16名を含む30名が参加しました。

研修会の中で、普及所からは、環境制御技術とは何か。導入することの効果やメリット。炭酸ガス濃度、湿度、温度などを見える化することでの栽培管理の変化について説明しました。

参加した生産者やJA営農指導員は、熱心に研修内容を聞いており、環境制御技術のPRができました。そして、数名の生産者が次年度より技術導入を行う予定となりました。

今後も、普及所はJA等と協力し、機会あるごとに環境制御技術の導入に向けた啓発活動を行います。

みんなで病気を防除しよう！ ～黄化えそ病対策協議会～



撲滅が合言葉の会議

8月3日にJA高知春野で、生産者や普及所、JAなど22名の参加で、キュウリやメロンで深刻な問題になっている黄化えそ病へ地域で対策に取り組むための協議会が開催されました。普及所からは、総合的病害虫・雑草管理（IPM）について説明と、栽培終了後の土壌消毒のアンケート調査の集計結果や防除体系の傾向・改善策を伝えました。結果、太陽熱利用の土壌消毒の理解が進み、今夏に行う生産者が増えました。今後も普及所では、関係機関と密に連携をとり、黄化えそ病の撲滅に力を入れていきます。

陸の玄関の高知駅で「おひとつ飲んでみませんか」 ～6次産業化商品の販促試飲会～



メディア取材を受ける春野高校生

8月5日、6次産業化推進事業で販路拡大に取り組んでいる西込柑橘園が、高知駅で「しばてんサイダー」の試飲会を行ないました。当日は春野高校の学生3人がインターンシップに来ており、学生達の勧めで試飲した人々からは「酸っぱいけどさわやか！」というような反応を頂きました。この試飲会は、四国キヨスク㈱の支店長との商談の中から、駅での試飲会開催へ発展しました。普及所は、イベントのプレスリリースや試飲会でのコスチュームへのアドバイスなど支援しました。今後も引き続き6次産業化商品の販路拡大の取り組みを支援していきます。

反省会を活かして次年度の定植計画を検討 ～JA高知春野ユリ球根定植会議～



一年の流れを決める会議

8月5日、部会全体で29園芸年度の出荷の流れを確認するためJA高知春野でユリ球根定植会議を開催しました。7月の反省会で市場から出た意見を参考に、より産地のカラーが出せる品種構成や定植時期を検討しました。普及所からは、摘蕾による冷凍球の採花率・秀品率アップの提案をしました。

生産者からは、冷蔵・芽出し温度などへの活発な質問があり、昨年度以上の市場評価を得るための意気込みが感じられました。

今後は、JA指導員と協力して定植後の栽培管理について定期的に定植や栽培状況を確認していきます。

「就農に関すること、お気軽に相談ください」 ～高知地区就農相談会～



相談者へ対応する職員

農業に興味がある方、農業をはじめたいという方を対象に、お盆中で帰省中の方が多い8月14日に、高知農業改良普及所で就農相談会を開催しました。

相談者は4組あり、「県外で仕事をしているお子さんに、農業を継いでほしい親子」や、「中山間地域で直販の兼業農家を始めたい夫婦」、「園芸で専業農家になる方法をさがしている若者」などの方々に、県農業公社、農地・担い手対策課、高知市市役所、普及所の職員で対応しました。いずれの方も就農の手順を理解し、就農への意欲をもって帰られました。

立派なキュウリ農家になるために！ ～キュウリ基礎研修会～



キュウリの特性や初期管理のポイントについて講習中

JA高知春野キュウリ部会では、産地提案型の新規就農者対策の一貫で、8月から研修生・新規就農者を対象とした「キュウリ基礎研修会」を開催しています。

内容は、経営管理2回、キュウリ栽培2回、ハウス構造1回の合計5回を計画。うち3回終了した時点で、延べ参加者数は44名。研修生を受け入れてきた指導農業士も含め、毎回参加者は増加しています。

普及所はJA営農指導員と協力しながら4回分の講師を担い、栽培開始前にしっかりと経営管理の意識付けと、栽培の基礎知識が身に付くよう支援していきます。